

高等学校支援本部 2018年度の活動

学習支援&受験生サポート

- ①各種検定及び検定対策講座及び自習室、勉強会
1学期と2学期に「英語」「漢字」「数学」の各種検定試験と、事前の検定対策講座を開催しています。また、テスト前自習室の設置や、夏休みと冬休みの勉強会開催を通して、自主的に学習できる環境を提供しています。
- ②受験生サポート
「数学入試問題チャレンジ講座」を開催しています。講師の先生や大学生から、基礎の確認や試験に向けての心構えなどを学習するほか、3学期には2年生向けの講座として、本校の卒業生から自身の体験談や今後の進路について話を伺う機会を設け、受験について考えてもらえるよう努めています。
また、卒業生に受験体験や高校生活についてのアンケートを実施し、受験の参考資料として3年生に提供しています。

保護者支援

①3年生保護者座談会

5月19日(土)9時半～11時 多目的室にて3学年保護者座談会を開催しました。
昨年度および卒業生保護者10名の方々にご協力いただき、3学年保護者42名と大人数の保護者の皆様にご参加いただきました。
高校受験に向けての不安や疑問、今更聞けない高校受験についてなど、保護者の皆様が「今だからこそ聞きたい高校受験のあれこれ」を、お子さんの男女・志望別(都立・私立・未定)別にグループ分けし、ざっくばらんに聞ける・話せる座談会でした。二学期にももう一回やってほしいという感想がでるなど、保護者の関心度の高さ、熱心さを感じた座談会でした。

②1年生保護者座談会

7月14日(土)9時から10時半 多目的室にて1年生保護者座談会を行いました。
10名ほどの方にご参加いただき、中にはご夫婦でのご参加もありました。
ワークショップをしながら自己紹介とご自身の心配ごとについてのシェアタイム。中学校生活について、塾にはいったほうがいいのか、部活動について、高校受験についてなどざっくばらんに悩みをシェア。最後に西尾先生から「各項目オールAでも4の子がいるのは評価上の理由があるので、確認してみてください」など高中は好成績がとりにくいという風評についての理由など教えていただきました。支援本部やご参加いただいた西尾先生などから具体的なアドバイスを頂き、和やかに会は終了しました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



1年生保護者座談会の様子



素敵な作品が沢山できました！

アンネのバラサポーターズ

アンネのバラは栽培43年目を迎え、200株ほどに増えました。サポーターズは、新旧の保護者、卒業生、地域の方などで構成され、手入れの中心を担っています。

バラ委員会に所属する生徒の活動もサポートし、今年度は、剪定などの通常作業のほかに、仮剪定したバラを利用したフラワーアレンジメントにチャレンジしてもらいました。工夫を重ねラッピングまで集中して作業すると、個性輝く見事な作品が完成しました。

終始笑顔があふれる生徒との交流の時間はサポーターズの活力の源になっています。



上:5月のアンネのバラ一般公開
左:フラワーアレンジメントに挑戦！

浴衣着付け&所作教室



所作の指導中



着付けの指導中

今年も例年通り、7月の浜田山沓番街夏祭りに合わせて開催しました。保健室を会場に16名の生徒が参加し、講師の先生から着崩れしない着付け方のコツなどを教わりました。
みんな帯が結べるようになるまで何度も練習を重ね、着付けがきれいに仕上がると、彩り美しい浴衣を身に着けた生徒たちの表情が華やぎました。
所作教室では、正しいお辞儀のマナーを学習しました。お辞儀には「立礼」「座礼」があり、それぞれ浅い礼から深い礼まで、手の位置や頭を上げる速さなどを丁寧に指導いただきました。最後は先生をお手本に、凛とした姿勢でお辞儀をして終了しました。

浜田山沓番街夏祭り



夏祭りで賑わう商店街と高中生のお店

今年も7月の商店街夏祭りに、夏だけ立ち上がる「高中夏祭り部」が出店しました。31名の生徒たちが、ソースせんべい・射的を企画。看板や射的の的作りなどの準備にも協力してくれました。
当日はソースせんべいを作ったり、的を並べたりと大忙し。交代でお店番をし、大きな声でお客様を呼び込んで盛り上げる姿も見られ、小さいお子さんから大人まで、たくさんのお客様に喜んでいただきました。また、女子は着付け教室で着付けた、かわいらしい浴衣姿で参加し、店は祭りの雰囲気にも包まれました。

給食・図書ボランティア



食感の擬音語「オノマトペ」
知らず知らずのうちに使っている
オノマトペが沢山ありますね。

PTA有志と支援本部メンバーによる「給食・図書ボランティア」は、月に1回、学校司書の星野先生、栄養士の高橋先生と一緒に活動。今年度は、毎月第4水曜日を定例日とし、食育や読書活動推進に関する、多彩な活動を繰り広げました。
集まったメンバーで、所蔵図書のブックカバーや、食育資料の「魚・野菜の見本」、「茶葉・ダシ」の展示物などを、工夫をこらして楽しく制作。「丸ごとの魚を見たことがない」など、食に関する実体験が少なくなっている子供達に、関連図書などを糸口にしなが、これからも「本物を知る大切さ」「生き物の命を食べ物としていただく有難さ」を学ぶ機会を作っていきたいと思います。

赤ちゃんふれあい事業



児童館の先生から手遊びの指導中

児童館・保健センターの協力を得て、3年生の家庭科授業のサポートをしています。
7月には、生後4~5カ月の赤ちゃんとお母さんが、授業に参加してくださいました。赤ちゃんを抱くのは初めてという生徒も多く、みんな緊張しながら、そっと抱っこをしていました。お母さん方からは、出産の苦労や子育ての話を聞き、命の尊さ・大切さを学びました。生徒たちは、今まで自分の成長を支えてくれた人たちに対して感謝する気持ちを再確認していました。
3月には、1歳を過ぎて歩き出したり話し始めたりするまでに成長した赤ちゃんに再会する予定です。

高中ミニコンサート

今年度17回目を迎えた「高中ミニコンサート」は、高井戸・浜田山・高井戸東の各小学校と高井戸中学校の児童・生徒が参加する音楽とダンスの祭典です。1、2年生の有志中学生による子ども実行委員会を中心に、小中のPTAと先生方にご協力をいただき開催しています。
今年はインフルエンザなどの心配もなく、沢山の方が来場。地域の皆様に、出演者の見事な演技を楽しんでいただきました。



高中手話コミュニケーション部



高中和太鼓部